

様式 6

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	漁業資格取得費補助金	開始 年 度	平成17年度
----------------	------------	-----------	--------

団 体 名	南かやべ漁業協同組合（組合員および漁業従事者）
-------	-------------------------

助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	函館市漁業資格取得費補助金交付要綱
-------------------------	-------------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	厳しい就労環境および高齢化による漁業者の減少，消費者ニーズの多様化，生産者価格の低迷など，漁業を取り巻く環境は厳しいことから，新たな漁業就業者の確保および資質向上を図るため，補助することとしたものである。
目 的	(目 的) 漁業に必要な資格を取得するための経費を支援することで，新たな漁業就業者の確保と資質向上を図る。
・ 効 果	(効 果) 新たな漁業就業者の確保および資質向上を図り，持続可能な沿岸漁業の推進が図られる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収 入	28 (決算)	120					337	457
	29 (決算)	139					322	461
	30 (予算)	240					729	969
	30 (決算)	120					331	451
	31 (予算)	240					729	969
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	28 (決算)			457				457
	29 (決算)			461				461
	30 (予算)			969				969
	30 (決算)			451				451
	31 (予算)			969				969

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	漁業資格取得費補助金
----------------	------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	漁業者の高齢化、新規着業者の減少といった厳しい状況におかれている中で、本事業により漁業者の確保と資質向上を図ることは、漁獲量の維持増大につながり、消費者である市民への食の供給を維持するという観点から適切であると言える。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	補助が漁業者になる一つのきっかけとなることで、漁業者の減少の緩和による就業者および漁獲量の維持と持続可能な産業の推進を図るため、必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	平成27年度から補助率を2分の1以内に見直し、自主自立に向け努力している。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	技術的な面から補助金以外の方法しかないのが現状である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	漁業資格取得費補助金
----------------	------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

漁業就業者の確保

(達成状況)

過去の実績

平成26年度 10名 (戸井:2名, えさん:2名, 南かやべ:6名)
 平成27年度 12名 (銭亀沢:1名, 戸井:1名, えさん:2名, 南かやべ:8名)
 平成28年度 8名 (銭亀沢:2名, えさん:2名, 南かやべ:4名)
 平成29年度 6名 (えさん:1名, 南かやべ:5名)
 平成30年度 5名 (えさん:1名, 南かやべ:4名)

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)

十分効果をあげている ☐一定の効果をあげている ☒効果が疑問である ☐その他 ☐

(理由)

本事業の実施により, 漁業者の確保と資質向上が図られ, 就業者および漁獲量の維持につながるものであり, さらには消費者である市民への食の供給を絶やさずに行うことができています。

○今後の方向性

☒ 現行のまま補助を継続☐ 見直したうえで補助を継続☐ 廃止☐ その他

(見直しの内容)

(見直しの時期)

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

令和 3 年度

☐

終期到来により廃止

☒

終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

令和 3 年度